

より安全な地下鉄を目指して



平成 26 年 10 月 30 日(木) 千代田線 綾瀬車両基地にて 異常時総合想定訓練を実施します。

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、事故・災害等の発生時における関係社員の初動対応、お客様の救出救護及び避難誘導における迅速・適切な対応、脱線復旧処置等を主眼とした異常時総合想定訓練を平成 26 年 10 月 30 日（木）に実施いたします。

今回の訓練では、「首都直下型地震により緊急停止した列車が脱線」という想定のもと、事故発生時におけるお客様の救出救護、避難誘導時における関係部門の対応、復旧処置のための点検作業、脱線で故障した車両の移動等により社員の異常時対応能力の向上を図ります。

詳細は下記のとおりです。

記

1 日 時 平成 26 年 10 月 30 日（木） 10 時 00 分～12 時 00 分

2 場 所 千代田線 綾瀬車両基地構内（足立区谷中 4-4-9）

3 想定内容

首都直下型地震が発生し、副都心線北参道駅～明治神宮前駅間を走行中、指令の指示により緊急停車したとき、異常な減速を感知した。乗務員が確認した結果、衝撃等により多数の負傷者を認め、また、最後部車両の脱線を確認したため、関係部門及び消防機関と連携してお客様の救出救護及び避難誘導を行う。

4 訓練参加者

東京メトロ社員、東京メトロお客様モニター、東京消防庁足立消防署
※訓練の参加予定者は約 190 名です。

5 訓練内容

- (1) 異常時の初期対応、お客様への情報連絡、現地対策本部の設置・運営
- (2) 負傷者の救出・応急処置・搬送
- (3) 列車内のお客様の避難誘導
- (4) 車両の脱線復旧及び脱線により故障した車両の移動訓練

以 上



昨年、中野車両基地にて行われた訓練の様子